

価値観の多様化について

難しい話は他の授業・科目に任せたい

個

個人の実現

最新技術がビジョン実現のサポートツール である・となる こと
「こうなりたい」「こんなことができたらいいな」というビジョンの実現
= 人間に最大級の喜びを与えてくれる

- ・ 個とは？
- ・ 自己実現とは？

個人とは

社会・組織の**最小構成要員**

個性、適正、好み
欲求（本能、安全、愛情、社会、自己実現）
能力、想像力
意志決定力を持つ

個人の要求(要求の階層・レベル)というもので理解

→ **マズローの欲求段階説**

レベル1 生理的欲求

種の保存の維持に必要最低限のもの
排泄、睡眠、食、性欲

レベル2 安全欲求

住居の確保、違法行為、犯罪防止 等々

レベル3 愛情欲求

好感をもたれたいという認知欲求、恋人、配偶者、子供、家族、親友を持ちたい

レベル4 社会的欲求

社会組織・集団への帰属欲求。社会的名声、尊敬を得たいという欲求
地位、権力

レベル5 **自己実現欲求**

意識的あるいは無意識に潜在意識層に組み込まれたイメージの実現に向かう欲求
夢をかなえろとか目標を達成する とかとか

欲求のレベルについて

- ・ 欲求には優先順位があり、レベルが低いほど強く作用する
- ・ レベル1、2、欲求はほとんどの生物に通じる欲求である
- ・ レベル2、3、の欲求は脊椎動物以上の種に見られる
- ・ レベル5 は人間にのみ見られる？
- ・ レベル5 欲求に専念するには1~4 が適当に満たされている必要あり

現代社会ではプリミティブ（レベルの低い）感情は抑圧されている

→ それらの感情を開放するもの

人気の出るゲーム
信者の増える新興宗教、自己開発セミナー等
売れる漫画雑誌
ヒットする映画

新興宗教が成功する理由は

- × 教義や理論
- 現代人が忘れていた連帯感等々の欲求が満たされるため
習慣性や満足感が得られること

テレビゲームの例

テレビゲーム類は低レベルなものでないとヒットしない？

↓

動物的な欲求が開放されてしまう → 気をつけましょう

欲求段階説は人間の成長に関する説明であるが、これは「インターネットそのもの」の成長に通じるところがあるようにも思える・・・

・ネット社会が十分機能するためには・・・

価値観の多様化とは？

レベル１～４は多様化と相容れない部分がある・・・とすると、価値観の多様化とはレベル５の欲求をサポートすること？

コンピュータのサポートがあるとこれらが可能になる？可能としてほしい！

→ コンピュータは小さくなった・安くなった・何処にでもある

「**ユビキタス・コンピューティング**」環境

ubiquitous: 「いつでも、どこでも」という意味のラテン語。

→ 復習：コンピュータの変遷・・・

→ 我々は自分の個性を知り価値観を生成する方法を学ぶ必要あり(これが難しい)

→ “only one” vs. “number one” (某先生談)

- ・どうしても安易な方向に流れてしまうが・・・
- ・それだけでは社会では・・・
- ・人それぞれだからこそ・・・話を聞いて真似ても意味がない？

・・・でもね、

みんなちがっていてもいいけどさ、本当にやりたい事をやるためにはそれなりの努力も必要だよ！

補足) 個性という言葉は難しい？

- ・そもそも日本社会に個性などあるのか？
- ・個性と「好きなこと」「興味のあることだけ」とは違う
- ・「個性を重視した○○○」？？？
 - ・ 正当なサービスを提供できない際の言い訳になってはしないか？

補足) 現代は「自己」の時代？

- ・個別対応できる商品・製品が求められる
- ・「自己実現」にこだわりすぎると
 - ・ 「排他的」になってしまう
 - ・ 自分で「自分探し」をしないといけない
- ・ 「過程」と「結果」

正直に言って、私(江上)個人は、このストーリー(議論)は好きではありません